

# 南小だより

学校教育目標

心豊かにたくましく生きる児童の育成

かしこい子

やさしい子

たくましい子

生活目標

『物を大切にしよう』

平成24年11月30日

第9号

川越市立高階南小学校

## 自分を見つめる目を育てる！

～全ての教育活動で行う道徳教育をとおして～

日常の何気ない会話や行動に児童の道徳的実践力が見えてきます。規律ある学校生活や家庭生活が大切であることは誰もが強く感じていることですが、そこに、温かい思いやりの心が静かに流れる高階南小であってほしいと願っています。

平成24年度、本校では「自分を見つめる目を育てる道徳教育～道徳の時間の指導方法の工夫～」という研究主題を定め、全教職員で研究を進めています。人権教育との関連を図りながら、これまで、校内研修とともに指導者を招き、道徳を中心とした研究授業を実施してきました。

10月 1日 (月) 5年2組「すれちがい」道徳研究授業

10月18日 (木) 4年1組「勇気を出せるわたしになろう」道徳研究授業

10月25日 (木) 5年1組「友とのトラブル」人権教育研究授業

10月27日 (土) 全学級 道徳の公開授業

11月 1日 (木) 全学級 人権教育の視点に留意した各教科等の研究授業

(西部教育事務所及び川越市教育委員会の指導による)

1月24日 (木) 1年2組 (予定) 道徳研究授業

もちろん、各クラスとも毎週1回の道徳の時間の授業を大切にしています。「今週はどんなお話だったの?」と子どもたちに話題にさせていただくのもよいと思います。「人としての生き方を考えることを通して、自分を見つめる目を育てることで、児童一人一人の道徳的実践力が高まるのではないか」と考えています。今回の懇談会の日々の公開授業全てで、人権教育の視点に留意しながら各教科の指導を行います。研究のための特別な道徳の授業ではなく、温かな人間関係の中で、子どもたちが穏やかな生活を送れるよう、今後とも継続的によりよい指導方法の工夫改善を重ねてまいります。

### 【発達段階に応じて】

学校研究では環境整備も進めています。廊下には「あたたかい心をももらったよ・あたたかい心をとどけたよ」という表題で、温かな心の交流を具体的な行動や感謝の気持ちで表現した掲示物を作成しました。11月末からは、花の子、1・2年生「協力、仲良く」3・4年生「勇気」5・6年生「自分向上プロジェクト」ということで、発達段階に応じた「行動と心の記録」を掲示しています。友達への素直な感謝の気持ち、なりたい自分に向かって努力しようとする意気込みがうかがわれます。



### 【『ぼくのともしち』】 本校第1学年児童作品より

一ねんせいになって、ともだちができました。ちかくにすんでいる〇〇ちゃんです。〇〇ちゃんは、ぼくとおなじ一ねんせいです。でも〇〇ちゃんは、うまれたときから、みみがきこえません。くちではなすこともあまりしません。だから、あそんでいるときに、はなしができないから、けんかになったりします。だけどぼくは、〇〇ちゃんとあそぶのが好きです。〇〇ちゃんは、トランプがすごくうまくて、クワガタも、てでつかめてすごいです。すこしだけ、しゅわを〇〇ちゃんからおしえてもらっています。しゅわがうまくなるようになって、もっと〇〇ちゃんとなかよくなりたいです。(心の輪を広げる体験作文 埼玉県優秀賞)

\*HP (ホームページ) にも「南小だより」を掲載しております。